田村藍水(元雄) 医者、本草家。生涯、朝鮮人参を研究、その間、平賀源内と日本初の薬品会(博覧会)を開いた。
たむららんすい
御蔭参流行・1718 = 江戸で小普請方の次男に生まれ、町医の養子となる。

..... 1727 = 9歳 :

享保大飢饉・1732 = 14歳 :

悪鋳再開・・・1736 = 18歳 : 医を修めたが、**阿部将翁**に本草を学び、**実地実験の正しさを信じた。**
..... 1737 = 19歳 : ***「人参譜」5巻を編纂し、参と名のつく植物の67種を図説する程、早くから人参に着目、同年幕府から人参種子20粒を下賜され、自宅の庭で栽培し、**

徳川吉宗隠居1745 = 27歳 :

義経千本桜・1747 = 29歳 : ***その経験から「人参耕作記」を著わす。**
他方、江戸牛込門内製参館で製薬をはかり、

徳川吉宗没・1751 = 33歳 : **「参製秘録」を著わす。**

各地に採薬旅行し、採集した植物を自宅の庭に試験栽培。
山脇東洋解剖1754 = 36歳 :

源内物産会・1757 = 39歳 : **弟子平賀源内の企画により江戸最初の薬品会を本郷湯島で催し、自ら会主となる。**
宝暦事件・・・1758 = 40歳 : **第2回も藍水が会主となり、両回とも主品百種を藍水が出品。**

大岡忠光没・1760 = 42歳 :

..... 1762 = 44歳 : 「甘庶製造伝」,
..... 1763 = 45歳 : ***幕府医官に登用され、人参の栽培に植村左平次と協力し努力。**
加賀千代句集1764 = 46歳 : **「人参耕作記」を増補して「朝鮮人参耕作記」を刊行。**

..... 1769 = 51歳 : 「中山伝信録物産考」(3巻) ,
..... 1770 = 52歳 : 「琉球産物誌」(15巻附3巻) ,

田沼意次老中1772 = 54歳 :

大原騷動・・・1773 = 55歳 : 「豪猪図説」,
雨月物語刊・1776 = 58歳 : 江戸で**没した。**